

# 岩井まさお 通信 未来

平成29年9月号 第16号

発行責任者：岩井まさお 〒262-0013 千葉市花見川区檜橋町1458-1 TEL. 043-259-2777 FAX. 043-259-2777



## 平成29年第3回定例会報告

平成29年第3回定例会（9月13日）に於いて、代表質疑をさせて頂きました。この代表質疑を通じ、問題点の指摘を含め質問として要望させて頂いたことを、主な内容や市の答弁と共に、Q&Aにして、ご報告いたします。

自由民主党千葉市議会議員団の岩井雅夫でございます。会派を代表しまして代表質疑を行います。

今回が初めての代表質疑のため、緊張しておりますが、しっかりと努めて参りたいと存じますので、どうぞよろしくお願い致します。

北朝鮮が8月29日早朝に弾道ミサイルを発射し、ミサイルは北海道上空を通過し襟裳岬の東1180kmの太平洋に落下。一歩間違えれば大惨事となる、断じて容認できない暴挙です。さらに9月3日過去最大規模の核実験を実施。

この状況は、これまでにない深刻かつ重大な脅威で、地域の平和と安全を著しく損なうことであるため国際社会の断固たる厳しい対応は当然です。北朝鮮が繰り返すミサイル発射・核実験に、厳重に抗議することを申し上げておきます。

それでは通告に従い質疑を行います。

### 市政運営の基本姿勢について 平成28年度決算と平成29年度の 収支見通しについて

#### ●平成28年度決算の評価について

**市長答弁** 〔財政局財政部財政課〕自由民主党千葉市議会議員団を代表されて、岩井雅夫議員より市政各般にわたる御質問をいただきましたので順次お答えします。

平成28年度決算評価ですが、一般会計の実質収支は、歳入において市税収入が予算に比べ増収となったことや、歳出において効率的な予算執行に努めたこと、

29年度中の追加財政需要への対応等を考慮し、48億2700万円の黒字を確保したところです。

健全化判断比率は、実質公債費比率が18%を下回り、政令市で唯一となつていた起債許可団体から脱却したほか、将来負担比率が着実に低下し、財政健全化プランで目標としている200%を下回るなど、財政健全化に向けた取組効果が着実に表れた決算と考えます。しかし、国民健康保険事業や病院事業の累積赤字のほか、各種基金からの借入残高など債務が多額であり、健全化判断比率もまだ高い水準であると踏まえ、本市の財政状況は依然厳しく今後も財政健全化に向けた取組を進めていく必要があると認識しています。

引き続き「第2期財政健全化プラン」の取組を着実に推進します。

### 千葉競輪場及び千葉公園スポーツ施設の再整備について

#### ●千葉公園全体の再整備について

**市長答弁**〔都市局都市部心整備課〕〔都市局都市部心整備課〕

千葉公園には、体育館の他にも野球場や綿打池、遊具コーナー、お花見広場があり、四季を通じて多くの市民の皆様にご利用されていますが、多くの施設で老朽化が進んでいます。

千葉公園の再整備は、千葉駅周辺の活性化ランドデザインにおける千葉駅周辺北エリアのまちづくりを推進する上で重要であることから、競輪場及び体育館の再整備を契機と捉え、新たな来園者の属性や施設再配置による動線等への影響や効果を踏まえながら、千葉公園のさらなる魅力向上を図るとともに千葉駅から公園・公園内の回遊性を高めること、周辺地域の活性化に繋がるよう公園全体の再整備について検討します。

### 教育行政について

#### ●不登校の現状と課題について

**教育長答弁**〔教育委員会学校教育支援課〕

平成27年度は、千葉市立小・中学校の不登校児童生徒は、小学校2422人、全児童の0.49%、中学校612人、全生徒の2.49%で、中学校は全国平均より低いものの、小学校は全国平均より高い傾向にあり、喫緊の課題と捉えています。

主な要因は、小中学校ともに、友人関係に於いて最も多く、次いで、学業不振や入学・進級時等の学校生活への不適応が挙げられます。各学校では、担任やスクー

ルカウンセラー、スクールソーシャルワーカーが協力し、関係機関との連携を図り、学校全体で組織的に対応しています。

しかし不登校の背景には、様々な要因が複雑に絡み合い、容易に解消に至らず、状況の改善が困難となっている事案も増えていることから、児童生徒の社会的自立に向け、学校教育のみならず、地域との連携による継続的な支援も必要と認識しています。

#### ●地域との連携を含めた今後の取組について

#### ●教育長答弁

これまでも各学校においては、学校評議員に民生委員、児童委員等を選任し、学校の抱える生徒指導上の諸問題について情報共有し、青少年育成委員会が主催する行事などに教職員が積極的に関わること、地域ぐるみで児童生徒の健全育成に努めています。

スクールソーシャルワーカーがコーディネートする個別のケース会議に、状況により民生委員・児童委員が参加し対策を協議しており、これらの取組は、不登校児童生徒への支援に効果があると捉えています。

教育委員会では、「生徒指導特別対策委員会」を毎月開催、不登校をはじめとする生徒指導上の諸問題について情報交換を行い、関係部局により、対策を協議しています。地域で子どもを見守り育てることが大切であることから、今後も学校と地域が連携した取組に努めます。

### 中学校の部活動について

#### ●運動部活動の現状と課題について

**教育長答弁**〔教育委員会学校教育保健体育課〕

運動部活動はスポーツの楽しさを味わい豊かな学校生活を経験する活動で、体力向上や健康の保持増進に効果的と捉えています。本市では中学生の約7割が運動部に参加し意欲的に活動を行っており、全国大会等に活躍しています。

一方、早朝や放課後、休日の指導が顧問の多忙化の要因となることにも、顧問が専門種目でない部は技術指導が負担となるなど課題と捉えています。

#### ●運動部活動の充実を図るための今後の取組について

**教育長答弁**〔教育委員会学校教育保健体育課〕平成4年度から、民間指導者を派遣す



# 岩井まさお

## 平成29年度の役職



### 【議会】

- ・ 総務委員会 委員長
- ・ 新庁舎整備調査特別委員会 委員
- ・ 環境審議会 委員
- ・ 自民党市議団 副幹事長

### 【地域活動】

- ・ 千葉市ハンドボール協会 会長
- ・ 千葉市相撲連盟 顧問
- ・ 千葉市花見川区サッカー協会 会長
- ・ 千葉ネオライオンズクラブ メンバー
- ・ 花見川区倫理法人顧問
- ・ 花見川区少年軟式野球連盟 顧問
- ・ 自衛官募集相談員
- ・ 犢橋小地区スポーツ振興会 会長

**● 今後の予定について**  
**教育長答弁（教育委員会学校教育部保健体育課）**  
 A 平成17年度に供用を開始した大宮学校給食センターの再編整備について、最新の衛生基準に基づき、ドライシステムを採用するとともに、HACCP（ハサップ）に基づいた衛生管理を行い、食中毒発生を防止しています。栄養教諭等が生徒の嗜好を考慮し、成長段階に必要な栄養を充足する献立を作成するとともに、「最新の食器・食缶を使用すること、温かいものは温かいまま、冷たいものは冷たいままの状態」で給食を提供するなど、安全安心で魅力ある中学校給食を実施していきます。

**● 学校給食センターの再編整備について**  
**教育長答弁（教育委員会学校教育部保健体育課）**  
 A より効率的で良質な給食サービスを提供するため、民間事業者の有するノウハウを活用したPFI方式により、順次、学校給食センターの整備を進め、平成29年4月に、こはし学校給食センターを開設し、3か所の学校給食センターの再編整備を完了しました。全ての学校給食センターにおいて、最新の衛生基準に基づき、ドライシステムを採用するとともに、HACCP（ハサップ）に基づいた衛生管理を行い、食中毒発生を防止しています。栄養教諭等が生徒の嗜好を考慮し、成長段階に必要な栄養を充足する献立を作成するとともに、「最新の食器・食缶を使用すること、温かいものは温かいまま、冷たいものは冷たいままの状態」で給食を提供するなど、安全安心で魅力ある中学校給食を実施していきます。

### 【千葉公園スポーツ施設の再整備について】

**【平成28年度決算に対する評価について】**  
 国民健康保険事実や病院事業の累積赤字のほか、各種基金からの借入残高などの債務が依然として多額で、健全化判断比率も他政令市と比較しても未だ高い状況であるというところは、分かります。この状況で「脱・財政危機」宣言を解除されたわけですが、財政状況は依然として厳しい状況ですので、今後も引き続き財政健全化に向けた取り組みを進めていきたいと思います。

センターは平成31年度末で15年間のPFI事業期間が終了となります。事業期間終了に伴う建物・備品の移管等の協議を進めるとともに、平成32年度以降の運営方法について事業運営の効率性や安全性、財政負担等を考慮しつつ、長期的な視点に立って検討します。

**【所感】** ご答弁ありがとうございます。基本的な考え方は、おおむね理解しましたが、納得いかないところもいくつかあります。詳細につきましては、決算審査特別委員会及び分科会におきまして、審査、確認を行っていくとして、2回目は所感を述べさせていただきます。



一時は廃止も検討された千葉競輪場



先週、9月5日に我が会派で市長あてに「千葉競輪場及び千葉公園スポーツ施設の再整備」の要望書を提出いたしました。その中で我が会派の基本的な考え方を述べさせていただきました。競輪事業の中長期的な経営・収支分析を慎重かつ十二分に行うことはもとより、競輪だけの範疇に留まらず、多くの市民が、国際レースを含むスポーツとしての自転車競技に触れ合える「自



耐久年数を超え老朽化した千葉公園体育館と屋外プール



転車スポーツの拠点」としての施設を整備することとし、これにあわせ全市的かつ総合的なスポーツ施設として、国際大会等の大規模大会が開催可能とする国際規格の体育館、武道館、プールを早期に整備すべきです。千葉公園スポーツ施設が、市民が集い、新たな賑わいを創出できる施設となるよう、さらに千葉駅から公園、そして公園内の回遊性を高めることで周辺地域の活性化に繋がるよう、創意・工夫を重ねるべきと考えます。

### 【不登校児童生徒への支援について】

今後、さらに増加が予測される不登校については、未然防止や早期解消のため、現在学校で取り組んでいる教育相談体制の充実に加え、長期にわたり家庭と関わることでできる地域人材との連携協力を強化し、より効果的な支援体制を構築していくべきと考えます。

### 【中学校の部活動について】

運動部活動のさらなる充実及び顧問の負担軽減に向けた取組みを推進するという取組みの基盤として、民間指導者や部活動指導員は、学校や生徒の実態を十分に理解し、学校の目標に沿った指導を行なえることが不可欠です。

そのような人材の確保は大変難しいとは思いますが、各学校の実態に応じて、子どもたちのために適切な対応をしていくべきだと考えます。

### 【学校給食センターの再編整備について】

中学校においても、生涯にわたって、健康な食生活が営める基礎づくりとして、学校給食を教材とした食育をさらに推進していただきたいと考えます。

また、大宮学校給食センターのPFI事業契約終了後の運営方式については、専門家の意見等も踏まえて、適切な事業運営を図るべきと考えます。

以上、所感をいくつか申し上げましたが、自由民主党千葉市議会議員団は、本市の更なる発展と97万市民のより豊かな暮らしの実現を目指し、力を尽くしてまいりますことを申し上げます。代表質疑を終わらせていただきます。長時間にわたり、ご清聴ありがとうございます。